



— SAMPLE REPORT — PAGE 1 / 1

# LLMO 診断レポート

AI 検索エンジン(ChatGPT / Claude / Perplexity / Google AI Overviews)における可視性評価

CLIENT	サンプル株式会社(Sample Co., Ltd.)
SITE	https://sample.example.co.jp
DIAGNOSED	2026年4月27日
CONDUCTED BY	株式会社 Neovision / 担当 小田

OVERALL LLMO SCORE

47 /100

GRADE C — 要改善

**現状サマリ。**従来 SEO の基礎は満たしていますが、生成 AI からの引用可視性は低い水準です。特に llms.txt 未設置、構造化データ(Schema.org)の網羅不足、FAQ 形式の不在が大きな減点要因。

逆に言うと、これらは **2~3 週間で実装可能な改善**ばかりで、対応後 4 週間以内に AI 回答での被引用が観測できる見込みです。

## Category Breakdown(5 項目)

構造化データの網羅性	<div style="width: 45%;"></div>	30/100
Organization のみ実装。FAQPage / Service / BreadcrumbList / Article が未設置のため、AI が「何の会社か」以外を推論で補わざるを得ない。		
llms.txt の品質	<div style="width: 0%;"></div>	0/100
未設置。AI クローラに対して、サイト構造とコンテンツ要約を能動的に提供できていない。		
セマンティック HTML	<div style="width: 65%;"></div>	65/100
基本的な見出し階層は適切。ただし h2 の飛び越え 3 箇所、article / section 要素の不使用が発見された。		
要約・FAQ 配置	<div style="width: 40%;"></div>	40/100
サービスページに FAQ なし。各記事冒頭の TL;DR(要約段落)も未配置。AI が「結論」を抽出できない。		
AI 検索での被引用	<div style="width: 0%;"></div>	0/100
ChatGPT、Claude、Perplexity の 3 エンジンで主要検索 5 クエリを実施。いずれも当社言及なし(競合 3 社は引用された)。		

## Top 3 改善優先項目

## 01 構造化データを4種追加

JSON-LDで `FAQPage` / `Service` / `BreadcrumbList` / `Article` を実装。最大の減点項目で、対応後の改善幅が最も大きい(推定+25点)。

## 02 llms.txt の新規作成

サイトのルート( `/llms.txt` )にMarkdownでサイト構造・主要ページ・引用ポリシーを記述。Anthropic / Stripe / Cloudflare 等が採用する2026年標準(推定+15点)。

## 03 各サービスページにFAQを追記

想定質問3~5個をQ&A形式で末尾に配置。`FAQPage` JSON-LDを同梱。AIが引用しやすい形式の代表で、被引用率が直接上がる(推定+12点)。